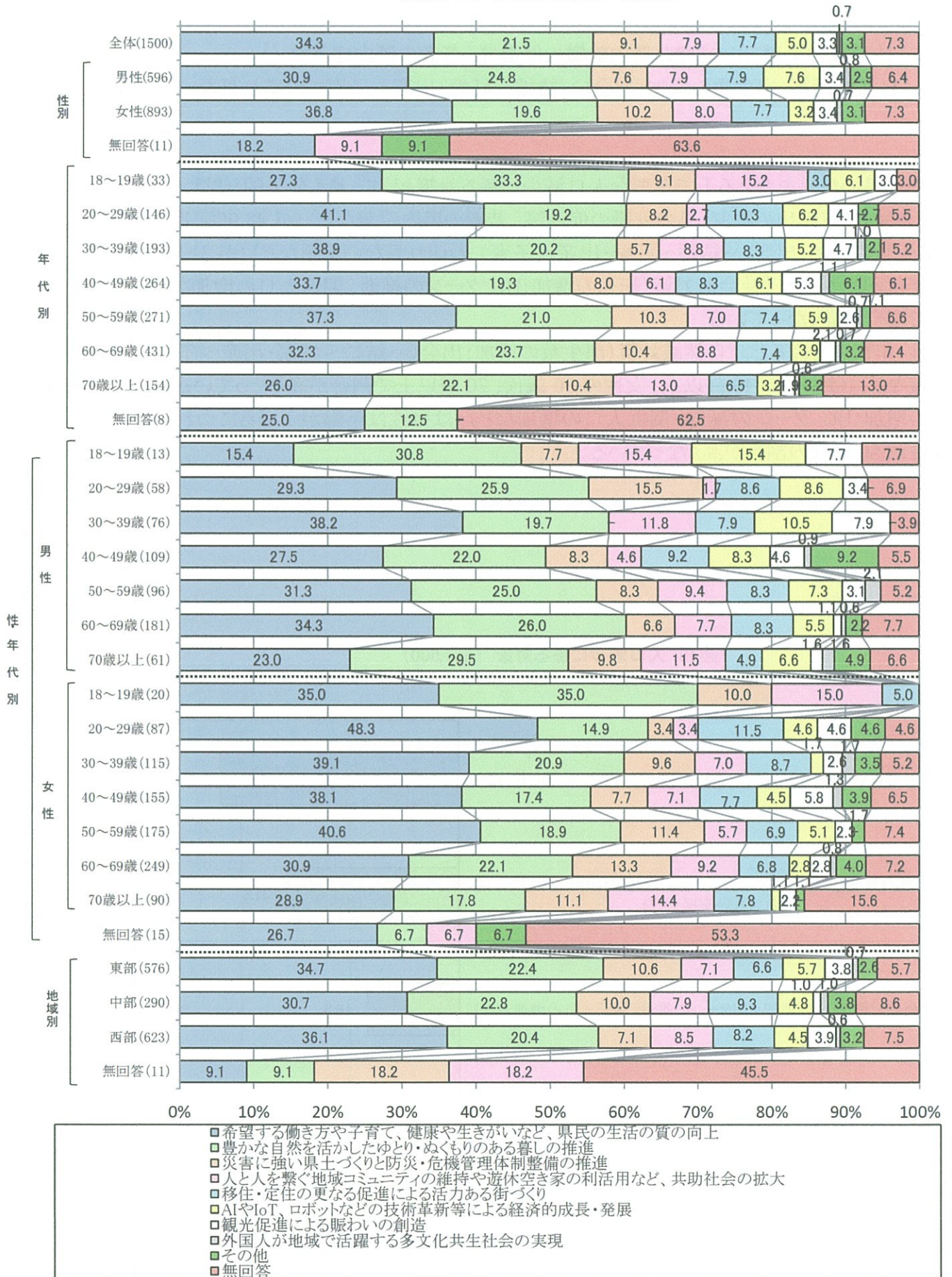


図47 概ね10年後(2030年頃)を見据えたとき、鳥取県の将来について、どのような姿を目指していくことが望ましいと思うか



問 18 鳥取県の将来を考える上で重要な人口減少に係る対策として、どれが最も効果的と思われますか。(〇は1つ)

～「社会減対策(転出の抑制:県内就職の促進等、若者の県内定着など)」

「自然減対策(出生数の増加:出会い・結婚～妊娠・出産～子育ての切れ目ない支援など)」が上位
～

鳥取県の将来を考える上で重要な人口減少に係る対策として、最も効果的と思われるものについて、「社会減対策(転出の抑制:県内就職の促進等、若者の県内定着など)」が43.9%、次いで「自然減対策(出生数の増加:出会い・結婚～妊娠・出産～子育ての切れ目ない支援など)」が31.8%となっている。

年代別でみると、「社会減対策(転入の増加:IJUターンの推進、関係人口の増加など)」は20～50歳代で割合が高くなっている。

性・年代別でみると、「自然減対策(出生数の増加:出会い・結婚～妊娠・出産～子育ての切れ目ない支援など)」は男性の40歳以上、女性の30歳代、70歳以上で割合が高くなっている。「社会減対策(転入の増加:IJUターンの推進、関係人口の増加など)」は男性は年齢が下がるにつれ、割合が高くなり、女性は50歳代の割合が高くなっている。

図48 人口減少に係る対策 (n=1,500)

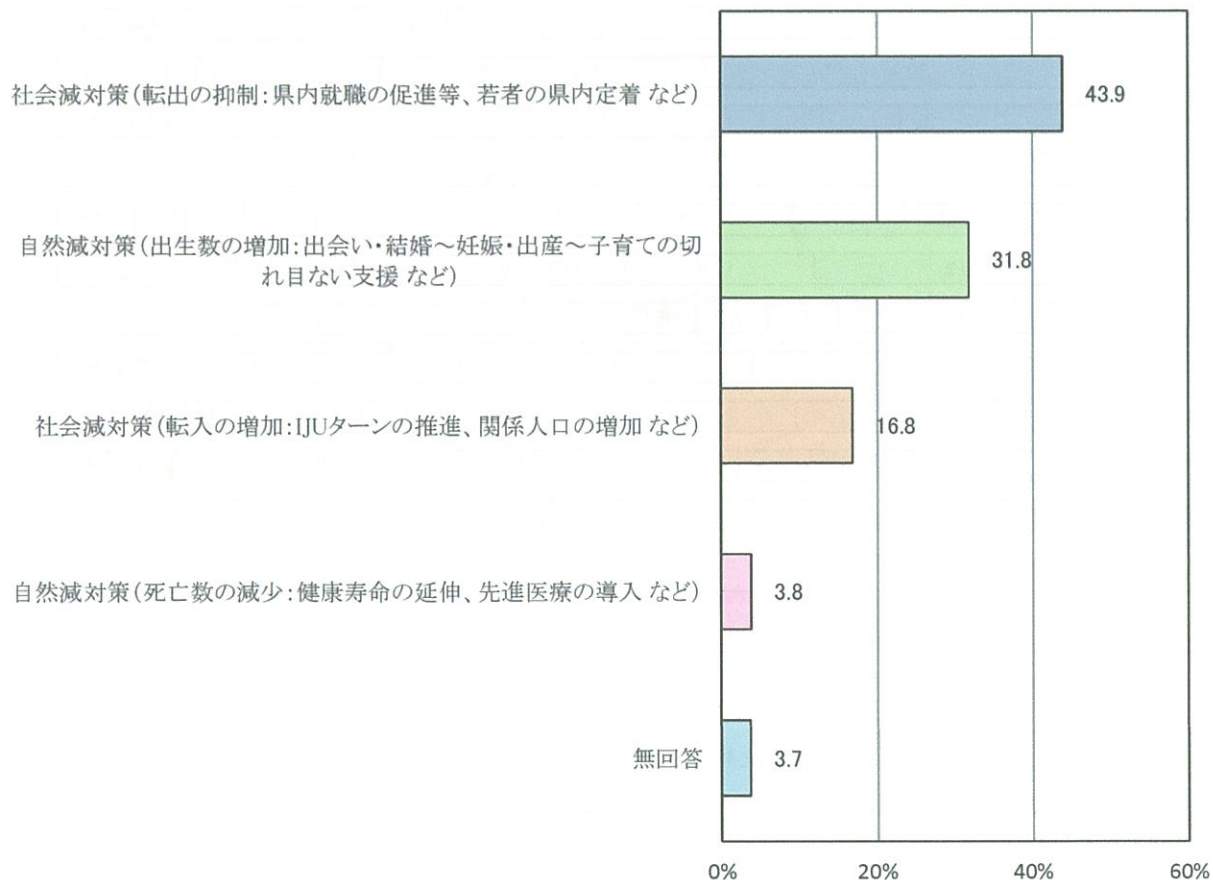
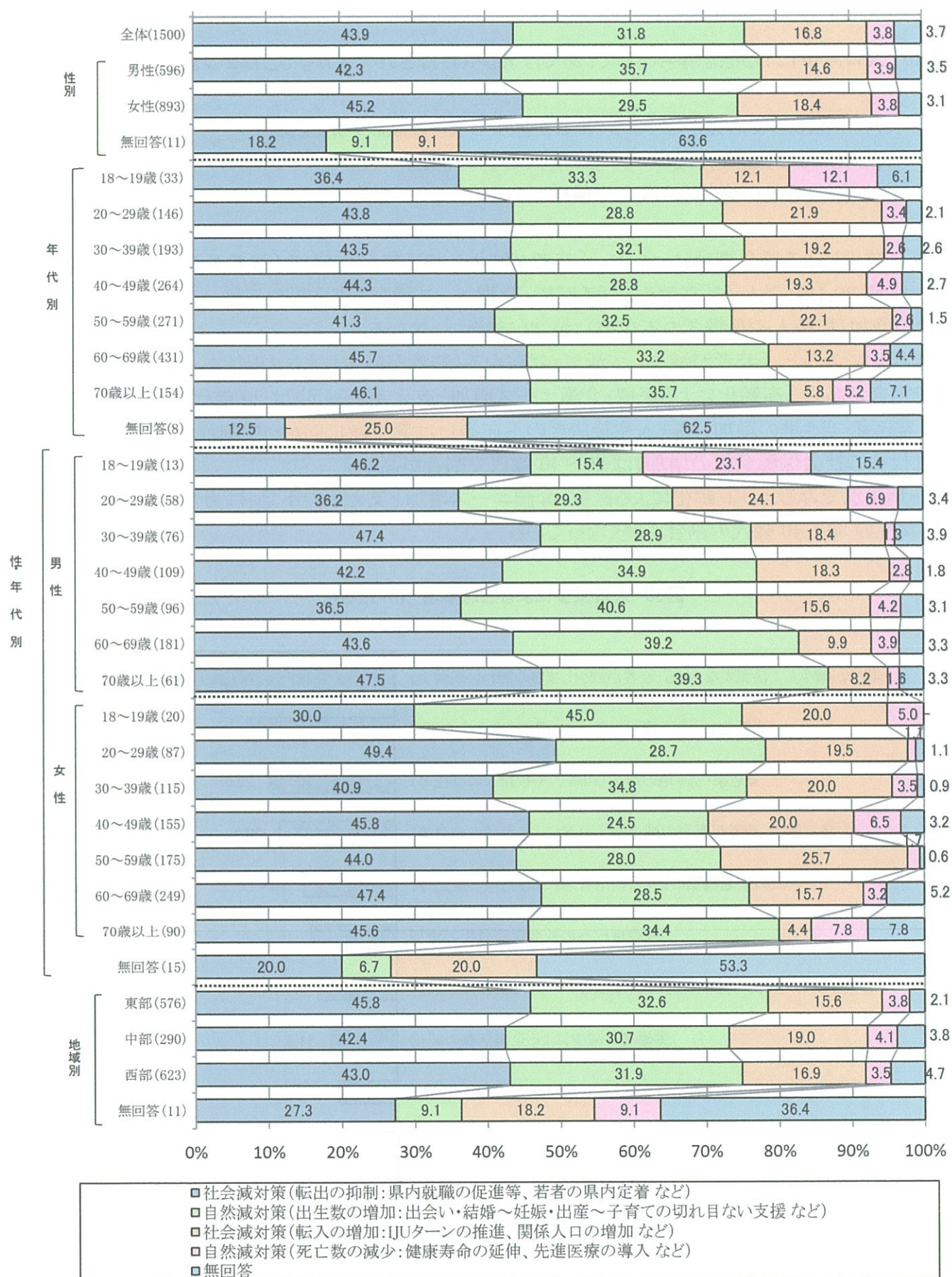


図49 鳥取県の将来を考える上で重要な人口減少に係る対策として、
どれが最も効果的と思われるか



問 19 問 18 で回答いただいた項目で、具体的な施策案があれば教えてください。【巻末「自由意見」に掲載】

問 20 人口減少による懸念事項として、あてはまる項目はどれですか。(○は2つまで)

～「若者が減少して活気がなくなる(若者が減少しまちの賑わいが減少)」
 「高齢化による医療・介護ニーズ増加と支え手の不足」
 「空き家・空き地の増加(相続人や後継ぎの不在等)」が上位～

人口減少による懸念事項について、「若者が減少して活気がなくなる(若者が減少しまちの賑わいが減少)」が 39.1%、次いで「高齢化による医療・介護ニーズ増加と支え手の不足」が 26.6%、「空き家・空き地の増加(相続人や後継ぎの不在等)」が 22.5%となっている。

年代別でみると、「若者が減少して活気がなくなる(若者が減少しまちの賑わいが減少)」は全ての年代で割合が高く、「高齢化による医療・介護ニーズ増加と支え手の不足」は 20 歳代、50 歳代で割合が高く、「空き家・空き地の増加(相続人や後継ぎの不在等)」は老年層に向かって割合が高くなっており、「現役世代への社会保障負担の増加」は 20～40 歳代で割合が高い。

性・年代別でみると、「高齢化による医療・介護ニーズ増加と支え手の不足」は男性の 30～40 歳代に比べ、女性の 30～40 歳代の割合が高くなっている。

図50 人口減少による懸念事項 (n=1,500)

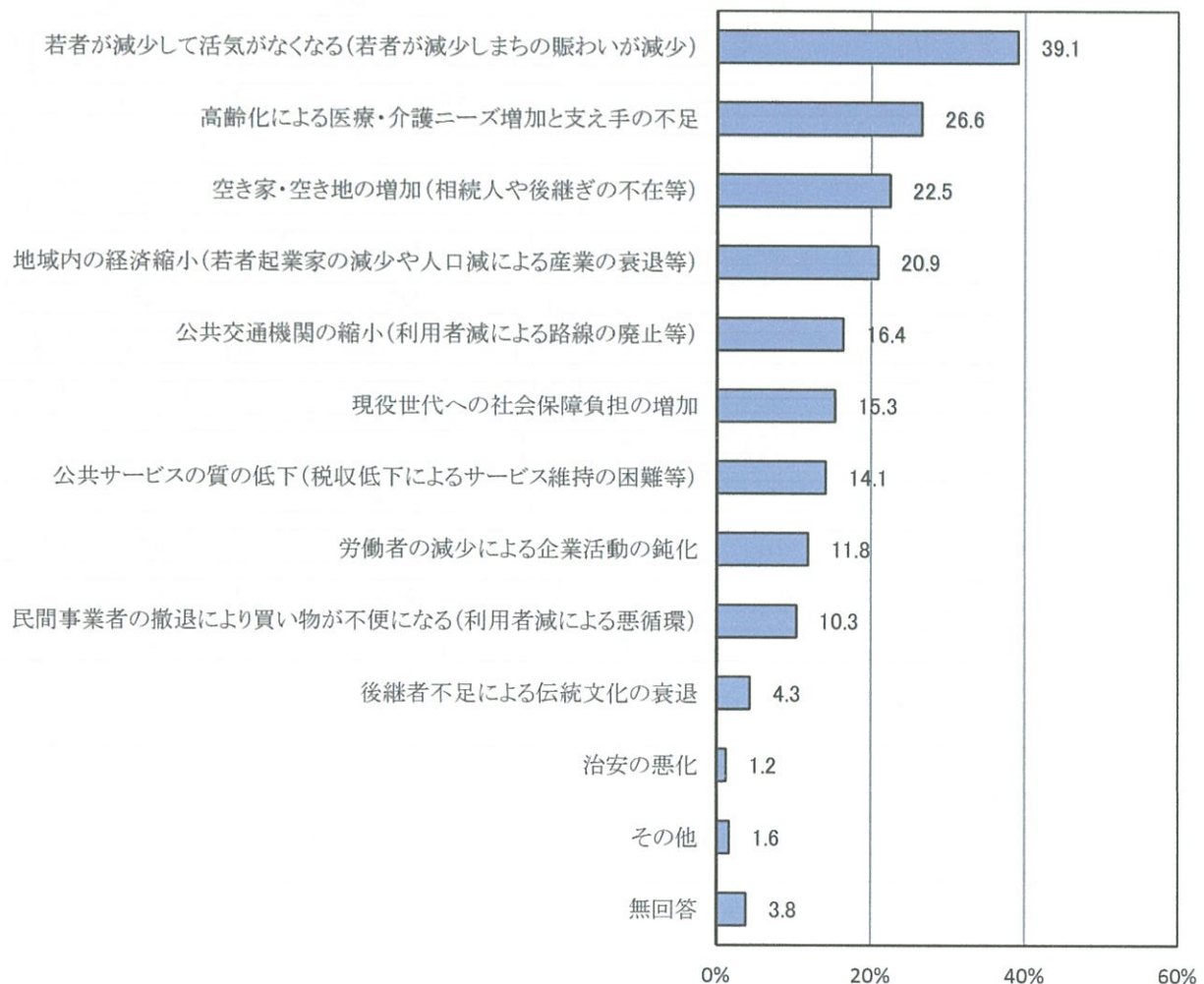
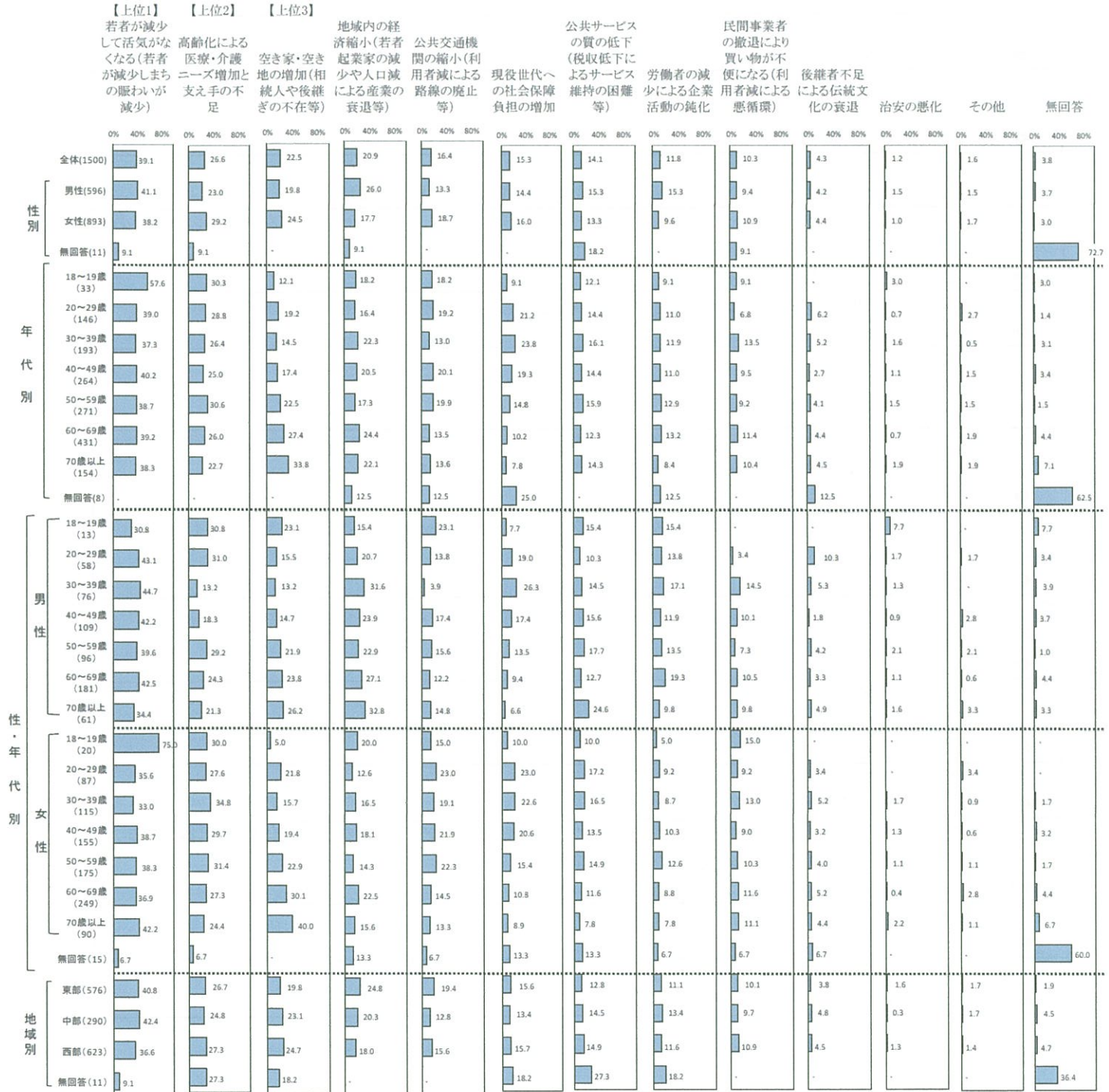


図 51 人口減少による懸念事項として、あてはまる項目はどれですか



【自由記載】

県民の多くの方々からたくさんのご意見をいただきましたので、一部を紹介いたします。

問7 女性が出産後も離職することなく、子育てと仕事を両立するために、行政が行うべき必要な施策は何だと思えますか。

○病児保育の設備、費用等の環境整備(子供は病気をしやすく診てもらえる人がいない場合、仕事を休まざるを得ない。米子しか受け入れ施設がない。 ◆(30～39歳 女性 伯耆町)
○在宅ワーク。(の推進) ◆(30～39歳 - 伯耆町)
○男女差のない(少ない)就労環境を作る事。全体的な就労環境の向上。結婚して仕事を辞めたい!と思う人を減らしたら。 ◆(20～29歳 男性 米子市)

問8 介護と仕事を両立するために、行政が行うべき必要な施策は何だと思えますか。

○介護者の精神的・金銭的サポート。不安なく介護に専念できるように。また、介護で心をすりへらさないように。 ◆(20～29歳 女性 倉吉市)
○介護期間には育児期間と異なり見通しが立たないので、それぞれの段階で相談をする窓口の充実。 ◆(60～69歳 女性 大山町)

問9 男女ともにワーク・ライフ・バランスの実践を促す労働環境をつくるために、行政が行うべき必要な施策は何だと思えますか。

○各地域の幼・小・中・高の学校行事(特に保護者の関わりが必要とするもの)を直接的に各仕事場に、行政が知らせることで、親の子育てについての企業としての配慮が進むのでは。 ◆(60～69歳 男性 鳥取市)
○次世代リーダー候補にワークライフバランス実現の必要性、重要性をきちんと理解し、実行してもらえるように育成する。 ◆(30～39歳 女性 境港市)
○イクボス、ファミボスが育休などをとっても、行政が支援すべき。部下だけではなく上司も。上司がどうしてもそういう事をすれば部下もできるはず! ◆(30～39歳 女性 南部町)
○テレワーク導入支援(テレワーク勤怠管理システムの導入等への補助)。行政、自治体におけるテレワーク比率を上げる。 ◆(30～39歳 男性 八頭町)
○家庭、学校、職場の連携。 ◆(60～69歳 女性 鳥取市)
○休みにくい雰囲気の会社が多いので、そういう後ろめたさを払拭できる雰囲気を作る。会社の利益より個人の生活スタイルを大切にするといい働きやすい企業が増えるといい。 ◆(30～39歳 男性 境港市)
○中、高生時代に学べる機会や教育があれば。 ◆(40～49歳 男性 米子市)
○企業(特に上層部)への意識改革。 ◆(40～49歳 女性 米子市)

問10 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき必要な施策は何だと思えますか。

○若い世代の人々が安心して働く為には、親の手助けが必要かと思う。親、祖父母世代の方の意識を変える啓発活動をしてはと思う。 ◆(30～39歳 女性 鳥取市)
○育児休暇、介護休暇、時間年休を取りやすい環境整備。 ◆(60～69歳 男性 倉吉市)

○性別を問わず幼児期、義務教育で人を人として大切に学習を、もっとなければならないと思います。 ◆(40～49歳 男性 米子市)
○家事・育児・介護をしても辛くならない社会環境。働いていても辛い仕事ではなく、楽しさ・未来があるような職場環境。賃金の問題。 ◆(40～49歳 女性 米子市)

問12 あなたの「幸福度」を判断するとき、あなたが重視することは何ですか。

○仕事とプライベートとのバランス。 ◆(20～29歳 女性 米子市)
○交通の便。 ◆(20～29歳 女性 米子市)
○お店(服屋、食べ物屋) ◆(18～19歳 女性 米子市)
○災害の少なさ。 ◆(40～49歳 女性 大山町)
○子供を安心、安全に育てられる環境。 ◆(30～39歳 女性 米子市)
○上下水道、除雪事業などインフラ整備状況。 ◆(30～39歳 男性 八頭町)
○治安の良さ、公共交通機関の充実。 ◆(50～59歳 女性 米子市)
○子どもの教育に関する選択肢の多様性。 ◆(30～39歳 女性 鳥取市)

問13 他の都道府県と比べた鳥取県の強みや良さは何だと思えますか？

○治安が良い、事件、事故が少ない。 ◆(60～69歳 男性 智頭町)
○人口が少ない。 ◆(20～29歳 男性 八頭町)
○平井知事の発言力。 ◆(40～49歳 男性 米子市)
○小さな県ゆえにネットワーク(人との)、フットワークが良く、それを力にしていることが評価できる。 ◆(40～49歳 男性 米子市)
○医療機関が充実している。 ◆(70歳以上 女性 米子市)
○街がコンパクトで買い物がしやすい。 ◆(40～49歳 女性 米子市)
○災害が少ない。 ◆(40～49歳 女性 米子市)
○程よく都会、程よく自然がある所。 ◆(30～39歳 男性 米子市)

問16 問15(概ね10年後(2030年頃)の鳥取県の将来は、現在と比べて明るいと思えますか)で、その選択肢を選んだ理由についてお教えてください。

《明るいと思う、どちらかといえば明るいと思う》

○将来の地域を支える人材育成に力を入れていると見えるので、今よりは、はるかに明るいと思えます。 ◆(30～39歳 女性 鳥取市)
○ワークライフバランスなど当たり前の世の中になっていけば、地域や家庭が活性化すると思うから。 ◆(30～39歳 男性 鳥取市)
○先進県に負けない前向きな取組みが感じられる。 ◆(20～29歳 男性 鳥取市)
○移住者が増えているし、外国人にも観光地として人気だから。 ◆(40～49歳 女性 鳥取市)
○交通の面が発展して、観光も自然豊かで魅力がいっぱいある。食べ物も美味しい。 ◆(40～49歳 女性 鳥取市)

○県の人口は確実に減っていると思われるが、人口が多いだけが幸せな県の条件ではないと思う。県民の幸せが実現できる環境整備によると考えるから。 ◆(60～69歳 男性 米子市)
○今後の地域力、人材力(リーダー等)にかかっていると思うから。 ◆(50～59歳 男性 鳥取市)
○現在の鳥取はそれなりに明るいと感じている。この状態で県民の声をしっかり聞いていけば、暗くはならないと思う。 ◆(20～29歳 女性 八頭町)
○観光地周辺地域の活性化で、もっと良くなると思います。ただ、災害時のサポート。高齢者を支える現役世代の生活の安心感で変わってくると思います。 ◆(20～29歳 男性 倉吉市)
○技術革新により、首都圏のみが国の中心ではなくなり、都会では創出できない自然の恵みに注目が集まると思われ、比較的自然災害が少ない鳥取県には存在価値が高く評価されると思われれます。 ◆(60～69歳 女性 米子市)

《暗いと思う、どちらかといえば暗いと思う》

○人口が減り、若者が県外に出てしまい、活力ある未来を想像することが出来ない。 ◆(50～59歳 女性 鳥取市)
○政策、取り組みの充実は感じられ、鳥取県はより良くなっていると思うが、人口流出や全国的な少子化問題の流れの影響がより大きくなっていると思われるから。 ◆(60～69歳 女性 倉吉市)
○どんどん人口が流出し減少すると思われ、山間部地域での暮らしが難しくなってくると思う。日常の買い物、交通の便など。 ◆(50～59歳 女性 米子市)
○今住んでいる自治会がどれだけ残っているか？梨を作っているが高齢者が多いので畑も少なくなり将来が不安。 ◆(60～69歳 女性 米子市)
○どこの県でもだが見えない不安を感じるから。 ◆(50～59歳 女性 米子市)
○国の政治に自治体が明るくなるような光明が見出せないため。 ◆(60～69歳 男性 米子市)
○活気が全く無く、シャッターが降りているお店が多くて行く所が限定されている。駅前にはイオンしかなくて、駅前にスタバが出ているくらいで、もっとお店が欲しい。 ◆(60～69歳 女性 鳥取市)
○交通の便が悪く、大きなショッピングモールが日吉津イオンしか挙がらないため。車がないと生きていくことが不可能に近い。 ◆(20～29歳 女性 米子市)
○人口減少、大企業の誘致が無い(来ない)。低賃金、若人の大都市流出、未婚者の増、老人の高齢化。 ◆(60～69歳 男性 鳥取市)
○鳥取県民だが、最先端で改革している人とは認識や意図に温度差がある。今の生活が精一杯で県の方向性など考える余裕がない。 ◆(30～39歳 女性 湯梨浜町)
○行政の努力、成果は理解できるが、人口減、賃金、就労等の問題は加速しており、どのような将来を迎えるかイメージできない。 ◆(40～49歳 男性 鳥取市)
○このまま生産年齢人口が減り、地域のセーフネット等が機能しなければ、生活はしにくくなる。 ◆(20～29歳 女性 鳥取市)

問17 概ね10年後(2030年頃)を見据えたとき、鳥取県の将来について、どのような姿を目指していきことが望ましいと思いますか。

○医療費削減のために公共のスポーツジムを。 ◆(40～49歳 女性 米子市)
○米子、松江、境港、安来、出雲が力を結集し、"アジアの中核地区"を実現する。各市がこれを支える施策を整備する。 ◆(70歳以上 男性 米子市)

○高齢者の方が生きがいを持っていること。安心して暮らせる地域コミュニティーが有ること。 ◆(20～29歳 女性 米子市)
○安心して(経済的、保育)子供を産み育てられる事。 ◆(20～29歳 女性 米子市)

問19 問18(鳥取県の将来を考える上で重要な人口減少に係る対策として、どれが最も効果的と思われますか)で回答いただいた項目で、具体的な施策案があればお教えてください。

○県内出身で県外大学に在籍する学生への就職支援も必要だが、県内(新卒、転職)の若者への支援もするべき。離職率、各ハラスメントの多い企業には補助をせず、淘汰させる、その上で優良企業(ES 高い)を誘致する。 ◆(30～39歳 男性 鳥取市)
○県内企業の増加と賃金のアップだと思う。駅近くのシャッター店を何とか活用して、賑やかにしてほしい。 ◆(60～69歳 女性 鳥取市)
○優秀な人材が地元で勤めたいと思えるような企業、産業を増やす。県全体で計画的に発展させる具体的なビジョンを練る。 ◆(50～59歳 女性 鳥取市)
○徹底的に若者に投資する施策を実施し、子供の頃の過度な教育、啓蒙(何故、必要か)を地道にするしかないと思う。個々の権利ばかり気にしていたら、いくら金を使っても良い方向に行かない。 ◆(60～69歳 男性 南部町)
○企業誘致、企業における労働方法の選択肢を増やす。(在宅勤務、兼業(他企業または個人で活動も可など))(このような取組は人員の増が求められる場合も多々あるので、企業の費用負担も増す) ◆(60～69歳 女性 米子市)
○色々な子育てでサークルが有るが、仕事をしていたら活用できず孤立感が強くなったので、共働きでも交流できるシステムが欲しい。 ◆(40～49歳 女性 米子市)
○他県の大学に行かなくても県内で学びたい事を学べる環境ができれば県内に留まる若者が増えると思う。 ◆(30～39歳 男性 米子市)
○鳥取では働くこと(就職先)がないとよく聞くが本当はないのだろうか?企業はないが魅力を感じる企業は存在しているのではないだろうかと感じる。企業についてもっと学べる機会を子どもの頃から作ってはどうか? ◆(50～59歳 女性 鳥取市)
○都会と張り合わない。都会には無い不自由さをアピールし、その中で交通が不便な場所の交通の整備。 ◆(40～49歳 男性 米子市)
○例えば、遠回りかもしれませんが、インバウンドの対象国を環日本海にこだわらず欧米にする事。そうする為には、開発しすぎない豊かな自然と質の高い食材、深い歴史・文化を活かしつつ、サービスの向上やインフラ整備、AIやIOTの導入で結果的に日本人にも憧れられる、住みたい住み続けたい県になり、増加に繋がれると思います。 ◆(50～59歳 女性 鳥取市)
○若い頃はこんな田舎は嫌だと思って過ごすかなと思うので、やっぱり鳥取県っていいなと思える中・高校生位から地域との連携などが有ると良いかなと思う。 ◆(40～49歳 女性 大山町)
○高校卒業後の進学先が少ないので、廃校になった小学校等を活用し、公立大学の学部を移転したり、増設などしてはどうか。周辺の空き家もシェアハウスや学生寮として住んでもらい、過疎地を活性化できないでしょうか。 ◆(50～59歳 女性 鳥取市)

問20 人口減少による懸念事項として、あてはまる項目はどれですか。

○子供の教育の質が低下する。学習塾の質が低いし部活の選択肢も少ない。子供が自分の道を選べない。 ◆(40～49歳 男性 鳥取市)
○限界集落の増加。地域コミュニティーの破綻。高齢者が多く若者が少ない上に、若者の投票率が低いとなるとますます若者の為の施策が少なくなる。 ◆(20～29歳 女性 八頭町)
○学校も減り、地域の文化面で活気も無くなり、拠点もなくなっていく。 ◆(50～59歳 男性 鳥取市)
○耕作放棄地や道路わき等の未整備に起因する景観の乱れ等、手入れの行き届かない自然。 ◆(50～59歳 女性 琴浦町)

自由意見

<p>○様々な所で「鳥取」の名を見るたび、鳥取はまだまだ捨てたものではないのだと感じた。平成という時代に出来たことが令和になっても出来るだろうか？そんな不安を打ち消すようなあらゆる取り組みを可能な限りどんどん行ってもらいたい。例えば、JRの各駅にその駅や周辺にちなんだ発車メロディーを導入する(例: 由良駅・・・『名探偵コナン』のメインテーマ)というのもそろそろあってもいいのではないのでしょうか？出来る事なら、明るく楽しく暮らせるような事をやってみてもいいかと思います。どうか御一考を。</p> <p>◆(30～39歳 男性 琴浦町)</p>
<p>○現在、自分が生活している環境を考えると、空き家が多くあり、生活環境としてはあまり良くない状況だと感じます。個人の所有財産ですからどうすることもできないのでしょうか。何か良い方法があればと思います。同様に、田んぼなどについても、何とかならないものでしょうか。田植え後に、水面にうつる山々や夕日の風景はとても美しいです(原風景です)。それにはやはり人の手が必要です。</p> <p>◆(60～69歳 男性 倉吉市)</p>
<p>○私は4月より仕事の関係で鳥取県に關東より移住しました。それまでは一生行くことのない場所だと思っていたのですが、住んでみると素晴らしい環境でずっと住んでいきたいくらいです。県外から来た人間にとっては鳥取県のアピールが足りないように感じます。県外からの移住者を対象に何か調査をとってみるのも面白いと思います。</p> <p>◆(20～29歳 男性 伯耆町)</p>
<p>○地理的ハンデに苦しむ中山間地では、公共交通機関の選択肢や便数も限られる。生活の全て(医療・買い物・娯楽)において制限される高齢者を支えるシステムとして財団のUDタクシーのさらなる活躍に期待します。</p> <p>◆(50～59歳 女性 智頭町)</p>
<p>○高齢化していくので、高齢ドライバーが安心して車を手放せるよう、公共交通の便を考えていく必要があると思います。</p> <p>◆(40～49歳 女性 境港市)</p>
<p>○県外の大学に行っていますが、鳥取県が行っている取組みが伝わって来ません。鳥取県の良さや取り組みをもっといろんな人に知ってもらい、転出の抑制、転入の増加が進むと良いと感じます。また、就職活動をする上で、学校で学んだ知識を活かせる会社、求人が少ない事、合同会社説明会を県外と比較した時に、企業外の受身の体制が気になり、県外企業の方が魅力的に感じる事も多く残念だと思いました。</p> <p>◆(20～29歳 女性 米子市)</p>
<p>○まずは人口減少を止めるために、より注力して頂きたいです。転出が増加するのは、魅力的な求人が少ない点や、生活の不便さからだと思います。企業支援とインフラ充実に力を入れて頂ければ幸いです。転入を更に増やすには、他県よりも魅力が無ければいけません。全国的に地方人口が減少する中、鳥取県を選ぶ理由が少ないと思います。移住者への補助や、住宅確保に向けた空き家情報の充実が必要です。中山間地には空き家がたくさんありますが、空き家バンクには載っていません。豊かな自然も、たくさん有る空き家も、まだまだ活用されていない状況です。</p> <p>◆(30～39歳 男性 八頭町)</p>
<p>○インバウンドの対象を是非、欧米に切り替えて頂きたいです。去年フランス人の友人が3日間滞在しましたが、鳥取の自然の素晴らしさに、本当に驚いていました。砂丘、浦富はかなり歩き回り楽しんでいました。まさに穴場だったようで美しい自然(開発されすぎない、けれども整備はされている)と、美味しい食材は武器になります(地酒もかなり気に入っていました)。環日本海は失礼にならぬ程度に大事にしつつも、欧米の自然と歴史、文化を愛する人をターゲットにすることで、結果的に環日本海の富裕層も来る事になるかと思っています。流行に乗ったアピールも大切ですが、根本に愛情がないと薄っぺらで一過性のものになると思います。キャッチフレーズで「王国」「みやこ」「スゴイ!市ですか」等使いがちな鳥取ですが、それよりも「ふるさと」「穴場」「歴史・文化」「真面目さ」「ほっこり」的要素を取り入れたものにした方が効果的。</p> <p>◆(50～59歳 女性 鳥取市)</p>
<p>○子育てしやすい環境(産休・育休などあり)になってきましたが、小学生になると夕方が不安です。保育園のように長時間預かってもらえませんが、来年から孫が小学生になりますので、どちらかの親が帰宅するまで孫守りができるようにしたいと準備中です。核家族をお互いにかに助け合うかが大切だと思います。</p> <p>◆(70歳以上 女性 南部町)</p>
<p>○障害児達と関わる仕事をしています。公共交通機関を使いたいのですが、車イスの子達はなかなか使える環境がありません。子供たちが成人になった時に自立した生活が送れるか心配です。生活しやすい環境を作りたいです。産休、育休に入るときに、会社の人の目が気になることが多いと思います。申し訳なく思ってしまう。自分が休んでしまう時に、会社に支援してくれる制度があれば、会社からも祝ってもらえ、自分自身もゆっくと休暇を取れるのではないかと思います。</p> <p>◆(20～29歳 女性 鳥取市)</p>

○労働賃金の底上げをもっとして頂けると良いなと思います。子育てサポート等での支援はあっても、子供は大きくなるほどお金が掛かります(学校費、生活費、習い事、未来に向けての貯蓄など)パートで働いていますが、子供は小学校、保育園のためフルタイムではまだ働けず、夫と二人の給料で何とかやっています。やはり経済的な余裕がないと人は幸せとは感じられないのです。家族が居て幸せなのは確かですが、心にゆとりも欲しい。鳥取県の未来は明るいと感じております。期待しています！

◆(30～39歳 女性 鳥取市)

○子供の教育、体力に力を入れてほしい。子供がスポーツや発表会で元気よく、ハツラツと頑張っているのが老人の楽しみです。鳥取県の駅伝は下位に下がっていて、マラソンのメダリストもいるのに、もっと強く皆で底上げできるスポーツではないのかと思います。子供達に一流の人やチームや、技術にふれる機会をたくさん作ってあげてほしいです。健康な子供に育むことが大人の一番の仕事だと思います。

◆(60～69歳 女性 八頭町)

○豊かな自然環境を観光資源として活用しているとは思いますが、自然を楽しむことを目的とした滞在できる拠点が不十分に感じる。ホテルのような箱物ではなく、キャンプ場やグランピング施設といった自然体験型の観光拠点を何箇所か整備して欲しい。星取県のような取組みが、体験拠点があれば天体観測の場になったり、雨天時の代替イベントも実施できる。自然観光拠点の予約と同時に、周辺の自然アクティビティ体験を予約できるようにシステムの構築や、近隣の温泉や道の駅へ客を誘導する等、自然を保全しつつ自然と共生し、県内外の人間が楽しめる環境を作って欲しい。自然観光資源の連動性が不十分に感じられ、非常にもったいないと考えています。

◆(40～49歳 男性 鳥取市)

○「農林水産業の活力増進」の項で「作り育てる漁業」の推進が挙げられています。養殖コストの約半分はエサ代だと聞いていますが、最近になって魚粉に代わる家畜や魚のエサとして「イエバエの幼虫」を代替に用いて、魚が成長しやすく病気になりにくいなどの効果が確認されています(エサは家畜の糞尿、生ゴミ)。県の畜産試等の機関や栽培セ・水試、業界が連携して維持性のある、儲かる水産養殖業を目指した取り組みをご検討されてはいかかかと思えます。廃校施設や、遊休施設を活用し、陸上養殖を絡めても良いと思えます。

◆(50～59歳 男性 境港市)

鳥取県の政策に関する「県民意識調査」に ご協力をお願いします

鳥取県には、都会にはない「豊かな自然」や「人と人との絆」、心豊かな暮らしを実現できる「幸せを感じる時間」があります。県では、このような鳥取県の強みを活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取り組みを進めています。

これからも、県民の皆さんが、住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう、現在の状況や今後の要望など、あなたの率直なご意見をお伺いし、政策に活かしていきたいと思えます。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

令和元年6月26日

- この調査は鳥取県が行う「鳥取県政に関する県民意識調査」（今年で4回目）です。
- 県内在住の18歳以上の方から3,000人を無作為に抽出させていただきました。
- 調査票は無記名になっていますので、お名前を記入していただく必要はありません。
- ご回答いただいた内容はすべて統計上の処理のみに使用し、個々の調査票を公表することはありません。
- 調査票は、封筒のあて名の方ご本人がお答えください。ただし、病気入院中や長期出張中などによりご本人の回答が難しい場合は、ご家族の方など代わりの方（18歳以上）がお答えいただいても構いません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信封筒に入れて **令和元年7月18日（木）まで**に郵便ポストに投函（切手不要）してください。
- この調査についてご不明な点がございましたら、問合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】

鳥取県 元気づくり総本部 県民課
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
電話：0857-26-7848
ファクシミリ：0857-26-8112
電子メール：kenmin@pref.tottori.lg.jp

